

大阪大学経営協議会（令和4年度 第4回）議事要旨

日 時 令和5年3月7日（火）13時30分～16時20分

場 所 大阪大学吹田キャンパス本部事務機構棟401会議室

出席者 西尾総長（議長）

生駒、井上、金倉、来島、黒田、多田、塚本、豊田、中野、蓮輪、村木、金田、田中、
三成、河原、尾上、中谷、水島、豊岡、竹村、深瀬、今里、有川 各委員

欠席者 池上、井野瀬、出口 各委員

議事に先立ち、西尾議長より会議開催に必要な定足数を満たしている旨の報告と、2月に開催した国際卓越研究大学の申請に向けた意見交換会への出席に対する謝辞があった。

続いて、前回（11月10日開催）の議事要旨については、事前に各委員に照会し、内容を確定して本学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

議 事

1 前回のご意見等に対する取組状況について

西尾議長から、前回11月10日開催の経営協議会におけるご意見等に対する取組状況は、議題10の説明に併せて行う旨の報告があった。

2 令和5年4月からの運営組織構成員等について

- (1) 役員の任命について
- (2) 副学長及び総長参与の指名について
- (3) 経営協議会学内委員の指名について

西尾議長から、配付資料に基づき、上記（1）から（3）について報告があった。

3 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について

三成委員から、配付資料に基づき報告があった。

4 令和5年度運営費交付金等について

中谷委員から、配付資料に基づき報告があった。

5 令和5年度予算（案）について

中谷委員から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

6 令和5年度長期借入金認可申請について

中谷委員から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

7 令和5年度OUアクションプランについて

金田委員から、配付資料に基づき報告があった。また、今回は令和5年度OUアクションプランの暫定版についての報告であり、重点的に行う取り組みの紹介であること、また、今後、本プランは令和4年度の業務実績と令和5年度の予算の確定を踏まえた修正を反映のうえ最終確定する予定であり、その内容については次回の経営協議会であらためて報告する予定で

ある旨の補足説明があった。

本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。

- 国立大学法人評価において達成状況が不十分であるとされた項目への対応を、アクションプランに具体的に記載すべきである。また、その際はどの評価項目と関連しているかを具体的に記載すると、より明確になる。
- 世界大学ランキングの結果や評価基準を分析し、今後の広報活動等を検討する必要があるのではないか。
- グローバル人材の育成にあたっては、双方向の受け入れが重要であり、バーチャル留学よりも、社会の仕組みや文化、慣習の違いや価値観の違いに触れることができる実際の留学に注力していただきたい。また、留学先での単位取得制度や奨学金制度の充実も図ってほしい。
- 業務の改善、効率化を進め、本来やるべき業務に力を注げるような環境をつくる努力が必要である。また、改善のためにDX化やICTツールの導入を進めるということだが、一番大事なのはマインドであることから、総長のリーダーシップにより、これを進めていただきたい。
- スチューデント・ライフサイクルサポートシステムで取り扱うデータには、所属ゼミや研究室、部活やその活動実績も含んでほしい。また、作成したこれらのデータは同窓会活動にも有効活用できることから、ぜひ展開をお願いしたい。

8 役員の退職手当及び報酬について

西尾議長から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

9 事務系職員及び技術系職員の定年引上げに係る対応について

水島委員から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。

- 今後、新たな人事制度案を示す時には、職員比率や人件費割合、職員のパフォーマンス評価の方法とキャリア制度などについて、他大学とのベンチマークの状況を併せて説明いただきたい。

10 国際卓越研究大学の公募に係る申請について

西尾議長及び尾上委員から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。なお、本日いただいた意見の反映など、最終的な提出資料にかかる調整は西尾議長に一任とすることについても、併せて了承された。

本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。

- マネジメント・システムが機能することを示すため、具体的な支援体制についても整理いただきたい。
- 国際卓越研究大学により、大阪大学全体の教育システムがどう変わるのかを申請に向けて明確にしていきたい。
- 研究力強化にあたっては、研究者のキャリアパスを用意するとともに、魅力的な研究環境であることをアピールする必要がある。
- 研究力強化の戦略として海外連携は重要であるが、例えばどの研究科や教員が関わるかなど、より具体的に説明した方が良いのではないか。
- グリーンイノベーションという範囲は小さいイメージなので、防災なども含めたより広義なものであることを注釈などで説明してはどうか。また、ベンチマークの大学との

これまでの関係についてもより積極的にアピールしてはどうか。

- 大阪大学が変革することで、大阪の街が 30 年後どのように変わっているのかをプレゼンにいられてもらいたい。
- プレゼン資料に出てくる文言が統一されておらず焦点がぼやけている感じがする。大阪大学がどのようなことをしていくのかを最初に短い言葉で表現し、その後の各論で具体的な方策を説明するほうがよい。

【その他】

1 退任する委員からの挨拶

本協議会学内委員のうち3月末をもって退任となる三成、河原、中谷、今里委員及び陪席の小笠原理事から退任に係る挨拶があった。

(以 上)